

ふじい弘之 ちば県政報告

令和2年 秋号



新型コロナウイルス 感染症対策

1月31日に初めての感染が確認されてから8か月で3900人。松戸市でも9月末日で約400人の感染が確認されています。

これに対し、3月19日には「新型コロナウイルス感染症対策についての要望書」として夜間における



る相談窓口の開設、中小企業への融資や返済猶予など17項目の緊急提案を行いました。

その後も4月15日に経済、医療、福祉にわたる23項目の要望書を提出。軽症、無症状者のホテル確保やパルスオキシメーター（採血せずに酸素をどれだけ運んでいるかを計測）の配備を実現しました。

さらに、5月26日に第3回目の要望を行い、中小企業以外の社会福祉法人やNPO法人などへの給付金支給を実現しました。

引き続き6月議会、9月議会においても提案を行い、支援金支給条件を売上30%減へ緩和するなどを実現しました。

予算要望書提出

9月28日、「2021年度予算編成に関する要望書」を森田知事に提出しました。今回は、第一の柱が新型コロナウイルス対策となり、安全安心、福祉、医療、環境、教育など11分野229項目の要望となりました。

コロナ禍にあつて地域医療を守り抜くこと、被災者生活再建支援制度の拡充、児童虐待にストップをかける施策、10年目を迎える東日本大震災を風化させない施策などを知事に訴えました。



就職氷河期世代への 就労支援

9月14日に、就職氷河期世代の就労支援の内容が決まりました。

3月4日の予算委員会において、同テーマを取り上げ、従業員10人以上の事業所すべてに知事から就労要請をしてほしいなど支援策を訴えてまいりました。

このほど、知事、教育長、労働局長連名での親書を出すなど、支援内容が明確になりました。詳細は、県のホームページに「千葉県就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画」として掲載されています。

コロナ禍が続いており、今後も氷河期世代の若者に限らず、求職されている方々への就労支援に取り組んでまいります。

県政に関するご要望がございましたら、ご遠慮なくお寄せください。

